

事業概要：原尻の滝観光拠点化再整備・周遊滞在観光推進事業

継続

申請者	大分県豊後大野市					初回採択回	令和7年第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	269,314千円 (248,776千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 道の駅原尻の滝の滝見テラスを再整備することで、来訪者減少傾向である原尻の滝及び道の駅の集客間口の拡大及び滞在時間延伸による観光消費の拡大に繋げる。また、屋外トイレ機能向上の再整備やドッグラン整備を通じて、観光拠点としての付加価値向上を狙う。そうすることで、農産物や加工品等の地域産品を多く取扱う道の駅の売上高等の増加を図り、本市で最も誘客力を誇る観光拠点としての役割を果たしていく。 - 本市は「おんせん県おおいた」にありながら温泉が無く、通過型観光地としての色が濃い。本事業により周遊滞在型観光地としての機運を醸成させ観光消費の拡大に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市有数の観光名所でありながら来訪者減少が進む「原尻の滝」、及び隣接する道の駅を再整備し、原尻の滝に新たな表情を生み出すことで、集客間口の拡大と滞在時間の延伸を図り、観光消費額増加に繋げる。 また、地域連携型サイクルツーリズム推進事業と周遊滞在促進型デジタルスタンプラリーのソフト事業の実施により、本市で最も誘客力の強い「原尻の滝」への来訪者を、本市の観光・自然資源へと繋げ、本事業の効果を本市全域へ波及させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域連携型サイクルツーリズム推進事業（補助金）3,400千円 ・里の旅周遊滞在型観光消費促進事業（システム費）1,174千円 ・道の駅原尻の滝運営戦略策定事業（委託費）3,960千円 ○拠点整備事業 ・道の駅原尻の滝観光拠点化再整備事業 240,242千円 （道の駅原尻の滝滝見テラス・第2屋外トイレ・ドッグラン・その他付随工事）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋132百万円） ②道の駅原尻の滝 レジ件数（＋24,000件） ③道の駅原尻の滝 レジ単価（＋424円） ④民間事業者参画数（＋17事業者） ⑤デジタルスタンプラリー参加者数（10,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.bungo-ohno.jp/docs/2023010400019/